218

時宗
守護の
神なり

鶴田川宗栄
大人

木遠順
いろ乃神も
ふるの
梅花

大

うもはる
ゆうかをを
まきしおき
しかのを
もとめるい
のの
神もとへ

右　信明朝臣

不逢久恋

その乃月よ

月前恋

紅葉ゝまきおと

山水の乃

右　清正

あまのはらを

ふりさけみれば

月

かもと

雲居よりさとる

松めはた
人も草も
まろる
さゝ
山里はみそう
大
ふて

あをこう
ひろそま
更ハゝ
焼火の
みりなも
さ
みる